

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館  
〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp



▲グループ別でアイデアを出し合う

3月4日(木)、18日(木)、25日(木)にみどり市公民館運営審議会(公運審)が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、延期されていた会議が3月に集中しました。

## 答申に向けて集中審議

### みどり市公民館運営審議会

うな工夫がされました。

18日と25日は全体会が開かれました。18日は、各委員が、自分の携わる「利用者」「団体活動」「子どもに関わる活動」のグループに分かれて、それぞれの立場から、どうしたら公民館を安心して利用することができるか議論しました。25日は各グループの討議結果の報告を受け、各委員がそれぞれの意見を発表しました。大別すると「感染対策を万全にして公民館活動をしたほうがよい」「活動は当然やめたほうがよい」とに分かれました。「活動をしたほうがよい」という意見では、公民館利用者等の自粛生活は社会的に孤立化が進み、特に高齢者の心身の機能低下をもたらしかねない。活動にあたってサーモグラフィを設置する、各部屋に手指消毒液を設置する、館内放送で感染対策をアナウ

ンスを行う、サークルごとにマニュアルを作る等々、感染対策をより徹底し、活動をしてもらうなどの意見が出ました。「公民館活動を控えた方がよい」という意見では、公民館は高齢者が多く集まるから危険、ワチンの接種が終わってから活動を再開する、自分だけでなく家族や仲間迷惑をかけかねない、感染拡大が続く現状下では無理をして活動すべきではない、などの意見が出されました。

また、オンラインを活用した活動を体験するため、各部屋に分かれ、整備されたWiFiを利用し、オンライン会議システムZoom(ズーム)を使い、リモートでの会議や講座の動画視聴を行いました。公運審では、市民が安心して公民館へ来館できるように、創意工夫をして、いかに活動ができるかの審議を今年度も行い、答申書をまとめる作業が続きます。



▲Zoomを使った会議を体験

笠懸公民館主催

## はじめての スマホ教室

6月24日(木)

①午前10時から11時30分

②午後1時から2時30分

市内在住、在勤者で

**65歳以上の人が対象**

笠懸公民館

サークル活動室2・3

申込みは笠懸公民館窓口へ

## 思い出がたくさん！大きく成長

## みんな笑顔で閉講

令和2年度のお母さんと一緒教室は、新型コロナウイルスの影響で中止や延期となった回もありましたが、全日程を終了し、閉講となりました。

## 文集作り

3月12日

子どもたちは先生と遊ぶ中、お母さんたちは1年間の思い出が詰まった写真を楽しそうに紙に張り付け、文集を作っていました。運動会やどんぐり拾い、



▲1年の思い出を文集に

クリスマス会など、たくさんの方の行事の思い出がよみがえりますね。

お母さんたちは、感染が心配で外に出て遊ぶことができない子どもたちのために、安心して利用できる公民館でお友達づくりができたこと、身体を動かすことができたことなどを話していました。

また、この教室に参加して良かったと染みじみと語ってくれました。恥ずかしがってお母さんのそばを離れない子もいましたが、文集作り終了後はボランティアで来てくれた先生と、英語の手遊びをし、この日は終了となりました。

## アスレチック遊び

たこあげ

3月17日

根岸先生とみんなで手遊びやアンパンマン体操をした後に、アスレチック遊びです。子どもたちは順番に

すべり台をすべり、長く張ったゴムを飛んだりくぐったり、積み木の上を横歩きしました。みんな自信がついて何度もチャレンジしていました。

遊具を片付けた後は、お正月にする予定だったたこあげをしに文化ホール前の芝生広場に出ました。子どもたちは先生が用意してくれた牛の絵が描かれたレジ袋のたこを持って、風の中を元気に走り回りました。子どもたちは、たくさん身体を動かし、お母さんたちも久しぶりにおしゃべりができ、楽しい交流ができたようです。

## 閉講式

3月19日

中山館長のあいさつの後、学級長の川野さんが、「コロナのため、何回もお休みになり残念な所もありましたが、最後までできたことはとても嬉しいです。子どもたちも喜んでいきます。保育園に行く前のひととき、日中みんなと遊べて良かった」と話していました。

閉講式の後には、ミニお別れ会です。根岸先生の本の読み聞かせや、エプロンシアターが始まると、部屋の中をかけ回っていた子どもたちは、まるで魔法がかかったようにおとなしくなり、お話を聞いていました。

最後にお母さんたち一人ひとりが感想を述べ、お世話になった皆さんとお別れをしました。

机上に置かれた文集には写真がいっぱいの思い出とお母さんたちの愛の言葉がたくさん書かれていました。

## 防災を考える⑥

## 「生活様式」

「新しい生活様式」という言葉も聞き慣れたこの頃。手洗いうがい、マスクの着用、ソーシャルディスタンスに三密、不要不急の外出を避ける、ウィズコロナ、アフターコロナを考える上で皆さんの生活スタイルにも変化があると思います。ここに1つ防災という視点も加えてみませんか？

子どもたちが大人になった時、どんなに懐かしみ、感動することでしょう。



▲根岸先生に感謝の花束を

という提案です。最低3日分の水と食料の備蓄、家具の固定、いざという時の連絡方法を家族で話し合う、ハザードマップの確認。毎日の暮らしの中で防災対策を習慣にする。大事だとは分かっているが日頃忘れがちな防災を「自分は大丈夫」ではなく、家族、大切な友人、自分を大切に思ってくれる誰かのために、今が意識を変えるチャンスかもしれません。防災は命を守ることに。備えましょう。



## 新年度へ向けて

### 利用者の会 理事会

令和2年度最後の利用者の会理事会が3月23日(火)に開かれました。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、笠懸公民館も休館となるなど、利用者の会の事業もほとんど中止となりました。その中で12月には笠懸町婦人会の協力のもと、障子貼りをを行い、いこいの広場も

第125回(カプアフラ)と126回(佐昇会・舞昇会)が開催されました。また、Wi-Fiを公民館に設置して欲しい旨の要望書の提出や、かさかけ公民館だよりを利用者の会のコーナーを設け、地域住民の方々へ、公民館をもっと多くの方に知ってもらい、利用してほしいという思い

で理事が記事を書き、発信しています。

今回の協議事項は定期総会の開催についてです。定期総会は5月27日(木)午後7時から開催することに決まりました。

その他、中山館長より、利用者説明会の開催についての説明がありました。利用者の方々が気持ちよく利用できるようにとの考えから実施することになりました。同内容で4回実施します。

## 動き出した地域文化祭

### 第1回企画広報部会

いよいよ動き出す令和3年笠懸地域文化祭企画広報部会。第1回企画広報部会が3月12日(金)に開催されました。決定事項は次のとおりです。

#### ◆役員体制

部長 提橋 勲さん  
副部長 金子 和夫さん  
小林 房江さん

#### ◆日程

10月16日(土)、17日(日)の2日間

#### ◆テーマとサブテーマ(案)

テーマ  
「参加から参画」そして新しい仲間づくり  
サブテーマ(昨年度、中止のため、変更なし)  
元気で楽しく文化祭

#### ◆参加申し込み期間

4月1日(木)～6月1日(火)  
副部長の金子さんは「みんなで協力し合いながら文化祭を作っていきたい」と話していました。

新型コロナウイルスが収束しない中、いかに感染対策を行って実施するのかが今後の課題となります。

今年度の文化祭をどのようにに開催していくのか、笠懸公民館と、企画広報部と実行委員会の3者で相談しながら進めていきます。

## 笠懸公民館 利用団体説明会

一同内容で4回開催ー

- ① 5月29日(土)  
午前10時から
- ② 6月2日(水)  
午後7時から
- ③ 6月3日(木)  
午前10時から
- ④ 6月3日(木)  
午後1時30分から

笠懸公民館  
交流ホール

## 特訓の成果を披露

### 佐昇会・舞昇会

笠懸公民館とみどり市笠懸公民館利用者の会の共催で、第126回いこいの広場が3月27日(土)交流ホールにおいて開催されました。

今回は舞踊の会である佐昇会と舞昇会の出演で行われました。来場者は約60人。検温など新型コロナウイルス感染対策を徹底し、「江戸の四季」や「花と竜」など約1時間、華麗な舞踊が披露されました。

佐昇会代表の高倉旗枝さんは「公民館が2、3ヶ月間休館だったので練習も思う様にできず、また出演が1ヶ月前に決まったので、

特訓に特訓を重ねなんとか皆様に観ていただける舞踊を披露することができてうれしいです」と話していました。



▲そろいの衣装で観客を魅了

# おしやれでかわいくい花

## 待ちに待ったつまみ細工教室

笠懸公民館主催講座「つまみ細工教室」が3月18日(木)に開催されました。

この講座は新型コロナウイルスの影響で令和2年3月の講座が中止。再度企画した12月の講座も延期となりました。感染予防のため、午前と午後の2部制とし、少人数で間隔をあけて行われました。

講師は自宅でも教室を開いているゆつきーさんです。参加者は午前の部11人、午



▲集中して作業に取り組む



▲ピンセットを使い、最後の仕上げ

後の部は9人でした。つまみ細工は小さく切った生地を折ってつまんで貼り合わせていくという工程を繰り返して、ブローチや髪飾りなどのアクセサリーに仕上げていきます。

皆さん初心者で、講師の説明を真剣に聞いていました。丸つまみと剣つまみの2種類の花びらに挑戦。講師も丁寧に一人ひとりにアドバイスしながら見回っていました。

「孫の七五三用の飾りが

作りたかった」という方が多く、延期で七五三には間に合いませんでしたが、出来上がった作品に満足していました。

参加者は「もっと色々な飾りを作りたい」とサークル化を望んでいました。参加者同士で交流もでき、大好評でした。

## 大掃除で仲間づくり

### みどり市笠懸公民館利用者の会

Vol.4

笠懸公民館利用者の会では、公民館と共催で、年2回公民館の大掃除を行っています。普段から利用している施設だからみんなできいにしよう、そのことが公民館の維持経費削減の一助にもつながり、また、同じ部屋を利用する複数のサークルや団体が一緒に清掃作業を行うことで、新たな交流が生まれることも期待して自主的に公民館の大掃除を始めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となりましたが、例年では公民館で活動している160のサークル・団体の約80%が参加しています。より多くのサークルや団体に参加していただくのが今後の課題です。



▲令和元年度のように

としては、要望するだけではなく、普段から公民館を利用できることへの感謝の気持ちを行動で示しています。これからもこのような考え方をもちて活動を続けていきたいと思っています。

## 利用者の会 定期総会



5月27日(木)

午後7時から

笠懸公民館

サークル活動室2・3





▲来場者に説明する会員

カタクリさくらまつりが、3月27日(土)から4月4日(日)まで岩宿の里で開催されました。その会場内で、四季の会・流木華道愛好会、咲き織りの詩かさかけが作品の展示会を行いました。

笠懸公民館で活動する咲き織りの詩かさかけは、古くなった服や着物などを紐状に裂き、織物の材料として活用する裂き織りを楽しむサークルです。当日、展示された作品は、使う材料

## 日頃の活動の成果を展示

### イベントの休憩所で展示会

によって、色合いや質感が違い、多様な表現がされていました。

展示場に訪れた市民は「裂き織りというものを知らなかった。初めて触れ、デザインや色合い、風合いが素敵」と話していました。展示場にいた会員の解説を聞きながら、作品に触れて

みたり、試着したりしていました。

咲き織りの詩かさかけの活動に興味がある人は、以下までお問い合わせください。

●代表者 村田 敏江さん

連絡先 080-1066-2157

●活動場所・日時

笠懸公民館  
第1・3土曜日

午後1時30分から  
4時30分まで

## 愛称がグンエイホールPALに

### ネーミングライツ協定締結式

みどり市と総合設備会社の株式会社グンエイは、笠懸野文化ホールの愛称の命名権を付与するネーミングライツパートナー協定を結び、3月26日(金)に締結式を行いました。

笠懸野文化ホールは令和3年4月1日から新たな愛称「グンエイホールPAL」となりました。

みどり市大間々町出身の同社運沼社長は「文化ホールを多くの方に利用していただき、地域の活性化に寄与できるよう、また、グンエイの名前に親しんでもらえるよう命名した。みどり市のさらなる発展に貢献支援ができることは、グンエイにとって大きな誇り」と話していました。同社は

## コラム豆電球



「ビールは、なぜたくさん飲める？」

暖かくなってくるとキンと冷えたビールをゴクゴクと飲み干すのは至福のひと時ともいえる。この瞬間のために、のどをカラカラにして飲むなんていう人も少なくないようだ。

例えば、ビアホールの大ジョッキは約1ℓ。ビール好きともなると、3杯くらいは軽く飲み干してしまうが、いったい胃のどこにそんなスペースがあるのか？これがただの水となると、とても3ℓは飲めないか

ら、なおさら不思議である。

ビールがこんなに飲めてしまうのは、じつは単純な理由で、適度なアルコール分のせいだ。普通の水は、胃ではほとんど吸収されないため、すぐに満腹になってしまいが、アルコール分を含んだビールは胃で吸収されるため、そうは苦しくならないのである。

もちろん、トイレ通いは頻繁になるが、そんなのは苦にしないのがビール党というものである。近年、若者の間ではレモンサワーやハイボールなどが流行っているが、ビール党も高齢化がすすむのだろうか？



▲協定書を手に記念撮影

愛称の命名権の他、文化ホールに常設看板を設置できる権利や年1回無料で同施設を使用できる権利があります。

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、グンエイホールPALに満員のお客さんが来場する日が早く来るといいですね。

みんなの思いをつなぐ

## オリンピック聖火リレー

東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが3月30日(火)に桐生市で開催されました。オリンピック・パラリン

ピックの延期が決定したため、聖火リレーも延期となりました。

桐生市民文化会館でミニセレブレーションが行われた後、同会館をスタートし、群馬大学理工学部まで2.8kmの聖火リレーが行われました。



▲聖火を受け取る高草木さん(左)

沿道には平日にも関わらず、多くの観覧者がいました。

たが、新型コロナウイルス対策で密になることなく見物をしていました。

みどり市推薦の聖火ランナーとして、笠懸南中学校に在学中、陸上で全国大会に出場した高草木架月さんが参加しました。

高草木さんのお父さんは「まさか選ばれるとは思わ

なかった。一生に一度ある

かないかのこと。世間では、

新型コロナウイルスの影響

で歓迎ムードではないのか

なと思ったが、走っている

姿を見て、参加して良かった」と話していました。

延期となったオリンピック・パラリンピックもついに開催が間近になりました。

新型コロナウイルスの影響は未だにありますが、選手を応援し、盛り上がりのあるオリンピック・パラリンピックになることを期待しています。

## 演奏会を動画で配信

### 陸上自衛隊第12音楽隊

グンエイホールPAで毎年恒例の陸上自衛隊第12音楽隊の演奏会の様子が、3月30日(火)から動画配信サイトYouTubeで配信が開始されました。

この演奏会は市内外問わず観客を募って開催されていましたが、今年度は、新

型コロナウイルス対策とし

て、座席数を減らし入場者

数を絞ったため、市内在住

者のみ対象としていまし

た。しかし、新型コロナウイルス

イルスの感染状況が改善さ

れず、観客を入れての開催

が困難となり、無観客で実施することになりました。

公民館喫茶コーナー

ぺちゃくちゃ

営業日・営業時間  
変更のお知らせ

●営業日・時間

火、水、金、土曜日

午前10時30分～午後3時30分

●定休日

日、月、木曜日、祝日

●問合せ先

みどり市社会福祉協議会 (76-4111)

後日、その様子を配信することです。市内外を問わず、人気の演奏会を楽しむことができるようになります。

演奏会は二部構成となっており、前半は「生命の軌跡」から始まり、「イーグルアンドソード」「防人の詩」「エルザの大聖堂への行列」の4曲が披露されました。後半は、映画20世紀少年の主題歌「Gett On」から始まり、2020年J-POPメロディーが披露され、歌やダンスを織り交ぜながら、前半とは違った楽しい雰囲気での演出となりました。

配信を見て演奏会を楽しむのもいいですが、生で見ている感じが迫力などもあ



▲エンターテインメント性に富んだ演奏を披露



配信された  
動画のQR  
コード

ると思います。一刻も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、直接、音色を感じられる機会が増えることを願っています。



# 華麗なアンサンブルに酔う

## カルテット・エスぺラント+ プラス

コロナ禍で延び延びとなつていましたカルテット・エスぺラント+の演奏会がグンエイホールP.A.Lで3月14日(日)開催されました。

エスぺラントを率いるのはフルートの荒川洋さん、そして在京オーケストラメンバーのバイオリン(ビルマン聡平さん)、ビオラ(村松龍さん)、チェロ(弘田徹さん)の管弦楽にパーカッション(中里ゆきのさ



▲みどモスも舞台に登場

ん)が加わったのが「カルテット・エスぺラント+」です。前半はロッシニやモーツァルトのフルート四重奏曲が演奏され、心地よい音の空間が会場内を包み込みました。

そして、みどり市への思い入れが強いという荒川さんが、この公演のために作詞、作曲したという「みどモス君」テーマ曲を歌えば、みどモスも音楽に合わせステージ上でステップを刻むと、観客からの手拍子で会場内は沸き立ちました。星野富弘さんや富弘美術館から見える山々をイメージして作られた「あの絵のむこうに」は幻想的なメロディが印象的でした。フィナーレを飾った「大間々祇園ばやし」のためのラプソディは土俗的でどこか郷愁を感じさせるメロディとリズムで感動的でした。荒

川さんが祇園囃子の太鼓とコラボのために作った曲といます。クラシックやポップス等多彩な音楽で観客を魅了していました。

コロナ対策を万全に施した関係者の人々のご苦労があつてこそその演奏会でした。

## こえのひろば

### 投稿

#### 笠懸南中学校40周年

ミケ

令和3年4月で笠懸南中

学校(笠南中)が40周年を迎えました。昭和57年に生徒総数377人で開校した笠南中も今年の3月で5780人の卒業生を送り出し、地元や各方面で多くの方々が活躍している事と思います。今では、親子二代で笠南中を卒業したという方も。そろそろ三代続いてなんて方もいるのではないのでしょうか。村立から町立、市立へと移行し、40年の歴史の中にはいろいろな出来事があったと思われるかもしれませんが、今はこのコロナ禍で学校もかつてない大きな変化を迎え、子どもたちも今までのような学校生活を送ることもできなくなつてい

ます。そのような中でも生徒たちは笠南中伝統の「凡事徹底」の精神で頑張っています。地元の宝である子どもたちの「生きる力」を育む場として笠懸南中の40周年を祝いつつ、地域の方々が携わり、見守っていければよいと思います。

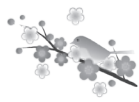
私事ですが、私が中学3年生になる時に笠南中ができ、学校見学で新しい教室、ピカピカの床の体育館を見て羨ましく思ったのを思い出します。中学生生活最後の1年を離ればなれになつてしまった同級生とは今でも「昭和57年度卒笠懸中、笠懸南中合同同窓会」として同窓会を開いています。

## 笠懸短歌サークル

### 二月作品より

ブランコにひ孫の足が揺るるたび雨降り待たる庭土のほこり  
コレクションむかしハンカチ今マスク色々集めとり換えつかう  
息の飛ばす小さきドローン屋根越えて阿左美の沼の水面をうつす  
わが影をやたらと伸ばす冬の夕陽脚立に立てばなほも遠くて  
運動着を厚手に替へて今朝は出づ零下四度の予報にあれば

上村 征子  
上山 利夫  
久保田茂子  
関口 定夫  
平山 勇



# 四季の会 二月句会



白梅の香る中庭茶の稽古  
 跡継がぬ子らの麦踏み過疎の家  
 枯山水の庭にしっとり春の雨  
 バレンタイン手作りチョコを待つ孫に  
 春の雪とけて行かむや母の墓  
 花粉症妻を氣遣ふ風の中  
 うかれ猫をのれの廁たしかむる  
 春の月時計見直す枕元  
 梅月夜ねこの用足し待ちをりぬ  
 梅より床屋の犬に吠へらるる  
 梅ひらく羅漢も咲ふ大古刹  
 スタッドレスタイヤ外す休日梅日和  
 芸なしの闇夜が好きとうかれ猫  
 青鰻を私好みの味にせし  
 ばあちゃんと呼び来る孫や梅日和  
 飼猫を威嚇す猿をり梅田郷  
 三桮の花の香りを待ち侘びる  
 北窓をあく腹一杯の深呼吸  
 齒科医院予約日忘れ麗らけし  
 春疾風不焼のゴミも宙を舞ふ  
 節分の後の福茶を頂きぬ  
 リハビリに通ふ畦道犬ふぐり  
 薄茶立て梅一輪に見惚れをり  
 短冊に春の一句を認むる  
 春一番抱き上ぐ二匹の散歩犬  
 残業の妻の帰宅や冴へ返る  
 啓蟄やのぞく本屋の漫画本  
 花粉症化粧も出きず出勤す  
 春ごたつ五匹の猫が占領す  
 踏切脇のシャボン館や梅日和  
 梅月夜終電を待つ無人駅  
 中立ちの露地のスマホや春の風

金井 英磨 家住 紫香 糸井 佳酔 高野 光詢 窪田 友美 童岸 星海 川岸 紫蘭 前原 邦女 中谷 華笑 小林 草秋 山本 狐一 小本 百紅 韓 漢江 金井 小町 村田 春蘭 裾沢 梅光 糸井 稔 今井 二朗 冠 小春 佐藤 初音 糸井 夕子 徳田 和 富田 雅 横倉 仙雅 須田 紅蘭 村田 劍邦 窪田 勝龍 遠藤 光順 金井 春水 東宮 青蓮 石原 勘大 宇野 光月

## 投稿

### テクテクお城歩き(18)

#### 八王子城 歩遊人

八王子城は東京にある日本100名城のひとつ。北条氏康の次男氏照が1584年頃から築城を始めたといわれます。それまで滝山城(続日本100城のひとつ)に居を構えていた氏照は1587年頃八王子城に移ったようです。広大な縄張りを持つ山城ですが、1590年豊臣秀吉の小田原攻めで激戦地となり、僅か一日で落城したといわれます。城は本丸を中心とした要害地区、その麓に



▲復元された御主殿入口

ある居館地区、外郭の防御施設からなっているようです。氏照の居館があったとされる御主殿跡から、建物の礎石や水路跡、多数の遺物が出土したといわれます。ここの野面積みの石垣は見所の一つです。また、近くにある御主殿の滝は落城時、北条方の武将や婦女子らが滝の上で自刃し、次々と身を投げ城山川の水は三日三

晩赤く染まったとの言い伝えがあるようです。本丸へは麓から約40分の道のり、金子曲輪、小宮曲輪、松木曲輪と続き、八王子神社の上には本丸跡があります。余り広くない平地なので、大きな建物はなかったようです。



### ちょっと一息



最近読んだ本で自分になるほどと思った本について書いてみました。それは柗野俊明著「小さな悟り」(二三笠書房)という本です。誰でも困ったこと、悩んだこと、迷ったことがあると思います。が、「雨が降ってきたから傘をさす」それくらいシンプルに考え、行動するというのが考えです。人生には「小さな答え」があればいいと言っています。まず、「無常」を深く受け入れることだといえます。「森羅万象、この世で起こることは一切が片時も留まっていな

「やがてよくなるさ」と思うことだといえます。逆に今が絶好調であれば、「同じ状況が長く続くとは限らない。有頂天になってはいけない」と気持ち引き締まります。「無常」という考え方は、よりよく生きるためのキーワードだといえます。また「しかたのないこと」に心を注がない。幸せは「考える」ものではなく「感じる」もの。何があっても「自分を嫌われない」。人生も、命も、すべては「レンタル」と考えるほどほととす考え方。はっとする気がしを教えてもらった気がします。